



総合事業等に関する住田町の取組



住田町地域包括支援センター

0

本日の内容

- 住田町の概要
- 早期移行を決めたポイント
- 早期移行で苦労した点
- 移行スケジュール
- 住田町の総合事業メニュー
- 今後に向けて
- 未来かなえ機構について
- これから移行するみなさんへ



1

岩手県住田町

基礎データ①(平成28年3月末現在)

- 総人口:5,860人
- 高齢者人口:2,411人
- 後期高齢者人口:1,513人
- 高齢化率:41.14%
- 後期高齢者割合:25.82%
- 65歳以上の要介護・要支援認定者数:473人
- 65歳以上の要介護認定率:19.62%
- 介護予防・生活支援サービス事業
対象者(チェックリスト対象者)数:64人
- 地域包括支援センター数:1箇所
- 第6期介護保険料:6,000円/月



古民家をリノベーション
まち家 世田米駅



- ◆面積
334.84km²
- ◆気候
夏は涼しく、冬は比較的温暖
- ◆鉄道
東北新幹線・水沢江刺駅
国道397号(車で約45分)
- ◆車
東北自動車道→宮守IC
国道107号経由(約40分)
- ◆飛行機
花巻空港
花巻空港IC・107号経由
(車で約1時間)



木造2階建
役場新庁舎

2

岩手県住田町

基礎データ②(平成28年3月末現在)

- **包括支援センター**
所長1(保健福祉課長兼務)次長1(保健福祉課課長補佐兼務)
職員3(主任ケアマネ1、保健師1、主事1)
嘱託職員2(健康運動実践指導者1、相談員兼認定調査員1)
- **保健福祉課**
課長1 課長補佐2
健康推進係4(保健師3、栄養士1、課長補佐兼係長除)
福祉係1(主事1、課長補佐兼係長除)
介護保険係2(係長1、主事1)

町内の介護保険関係団体

- ・社会福祉法人住田町社会福祉協議会
(通所介護2、訪問介護1、訪問入浴1、GH1)
- ・社会福祉法人鳴瀬会 (通所介護1、特養1)



3

総合事業への早期移行を決めたポイント

住田町介護保険事業計画(第6期)より

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度	平成37年度
保険料の月額基準額	6,071円	※実際は6,000円に決定		9,310円	12,368円

- ・第6期事業計画策定時に介護保険料が平成32年度に約10,000円となる事が判明
(県内で最大の伸び幅)
- ・そのため早急に対策を取る必要があった



保健福祉課と包括支援センターで協議し、平成27年4月からの開始とした

4

早期移行での苦労した点

では、総合事業に移行するとは...???

- 何がわからないのか、わからない
- 先進過ぎて参考となる例規等が無い...
- サービスは全て新しく作り上げる必要があるのか？
- etc....

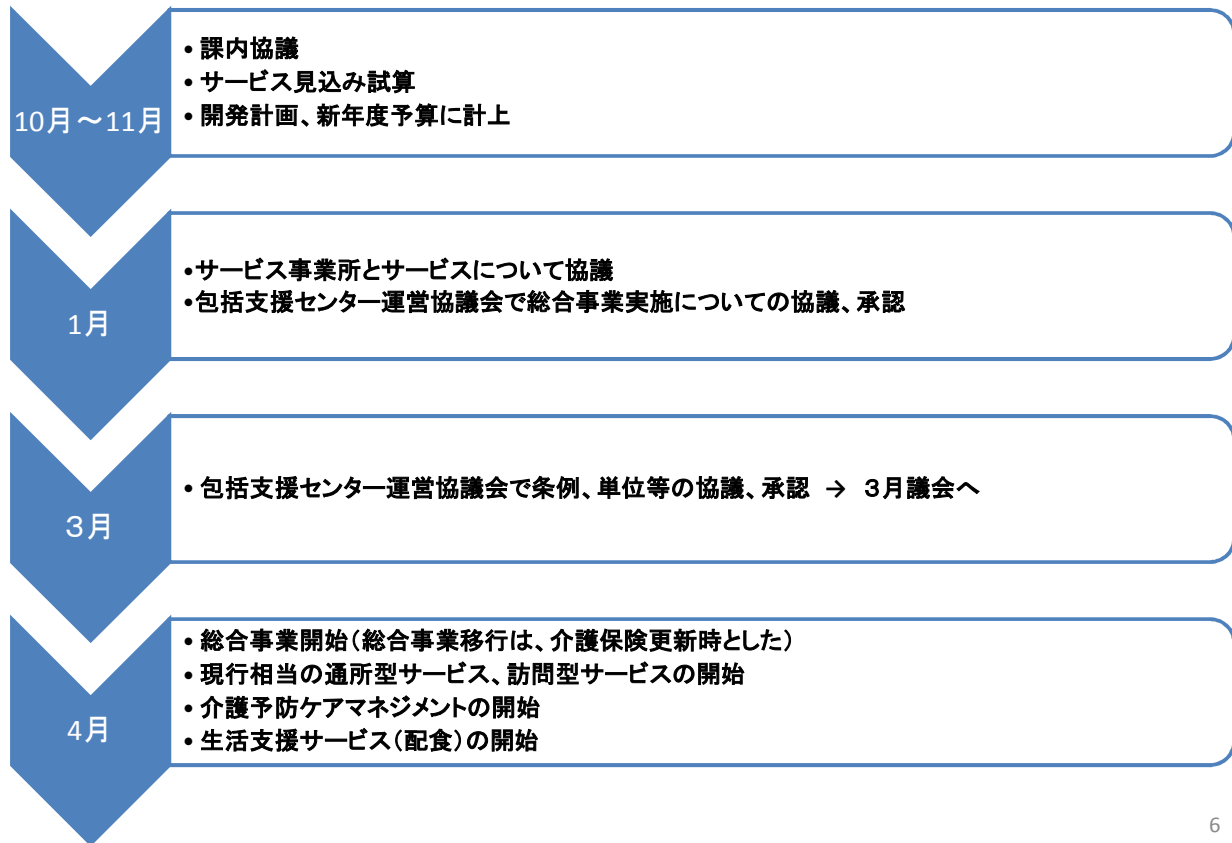
取り組んだ事

- 総合事業関係の研修に参加
- 介護保険法改正点を各自で勉強
- ガイドラインの熟読
- 町内事業所とのサービスの洗い出し&課題の可視化
- まずは走り出す！



5

総合事業実施までのスケジュール



6

住田町の総合事業①

通所型サービス

名称	通所型サービス現行相当	リハビリサロン
種別	介護予防通所介護相当	通所型サービスC型(短期集中)
単位	1回数:378 2回数:389	原則無料 実費負担有 ※今後単位設定予定
利用可能回数等	支援1、事業対象者:月4回まで 支援2、事業対象者:月8回まで	5月～9月:10回(月2回程度) 10月～3月:10回(月2回程度)
備考		・二次予防事業で実施していた集中リハビリ教室を移行

7

住田町の総合事業②

- 訪問型サービス現行相当(みなし)
回数単位の採用
- 生活支援サービス(配食)
見守りを兼ねた配食サービス
- 介護予防ケアマネジメント
指定居宅事業所へ1割程度委託

8

住田町の総合事業③

- 認知症カフェ中心型2ヶ所
(社協よりあいカフェ事業と共催)
- 町は運営とコーディネートを実施(委託)
- 認知症地域支援推進員が主に活動
- 利用状況①毎週火曜 1回平均約20~30名
②毎週日曜 1回平均約10名
- 地域型12ヶ所(社協よりあいカフェ事業)

9

住田町の総合事業④

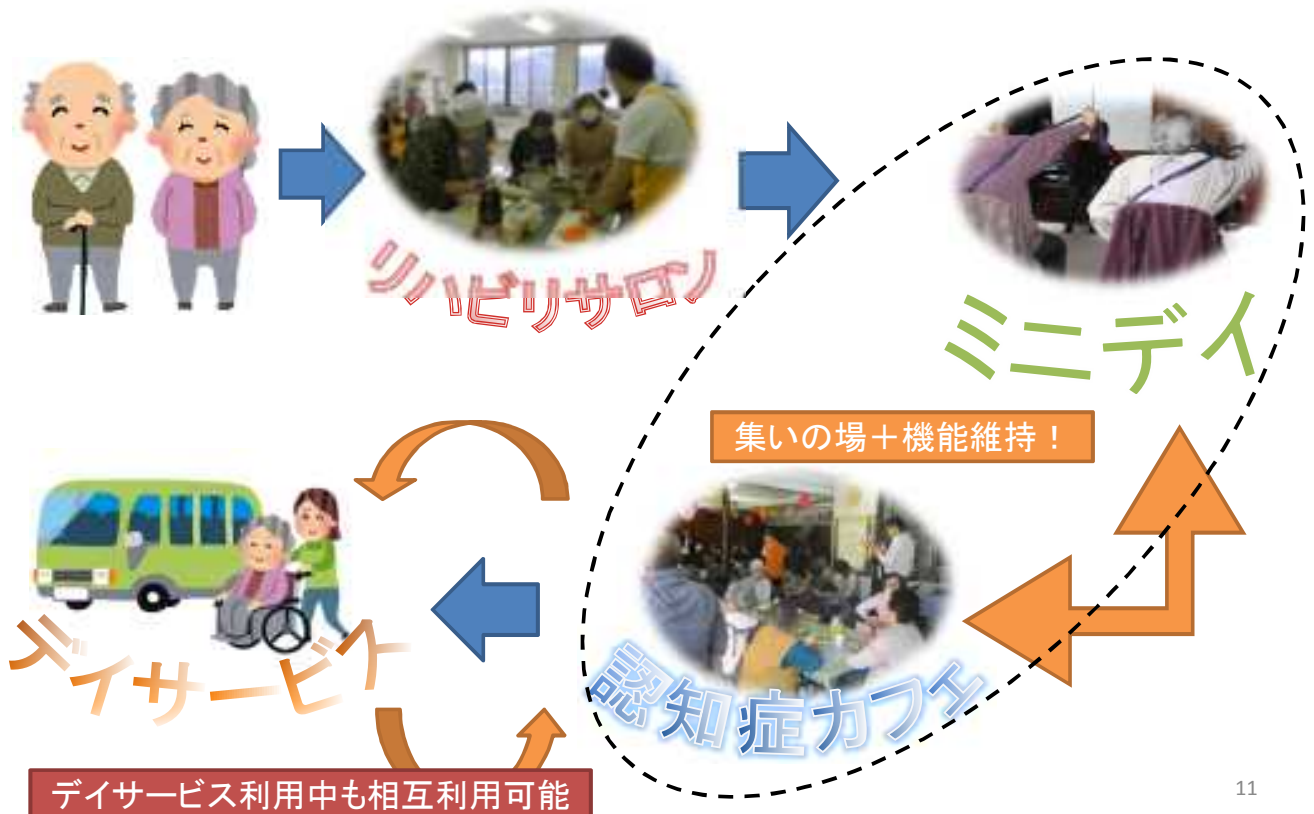
一般介護予防事業

- ミニデイサービス
(介護予防普及啓発事業)
- 町内21ヶ所で年間6～8回
- 包括保健師1名又は
健康運動実践指導者1名
日々雇用看護師2名
- 送迎
シルバー人材より運転手派遣(27年度より)



10

住田町の総合事業⑤



11

今後に向けて

基準緩和型通所サービスの年度内実施

- 28年6月よりワーキンググループを開催

認知症初期集中支援チームの設置

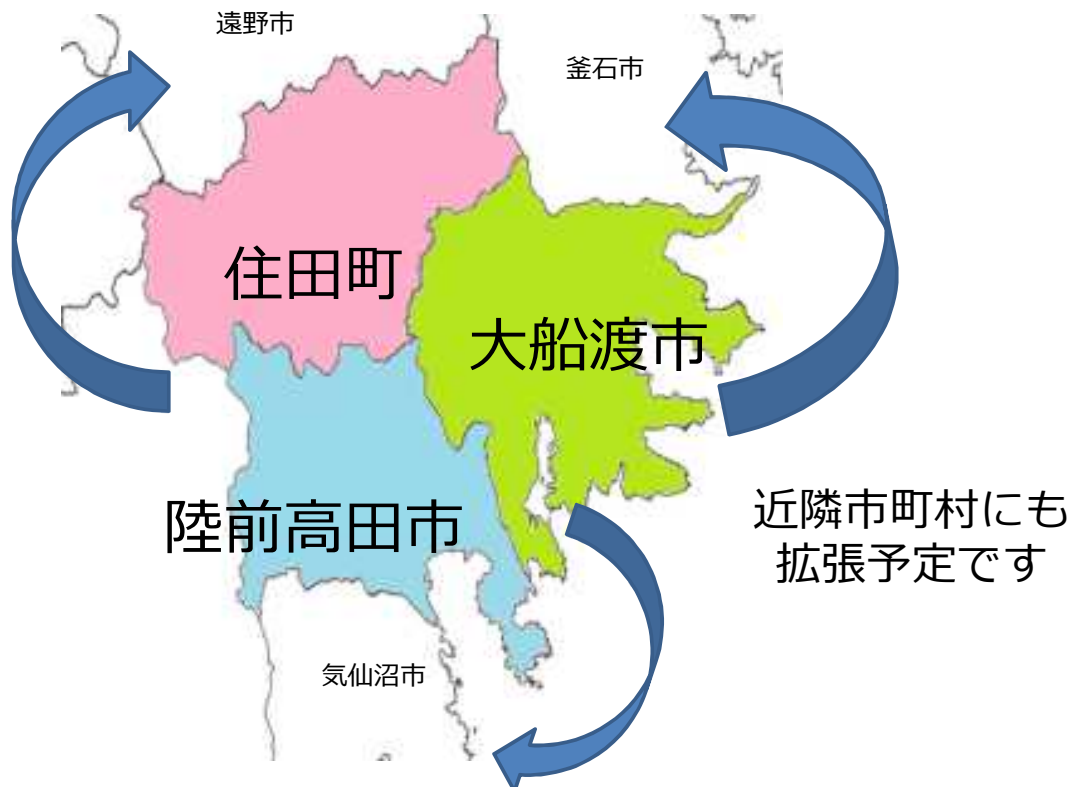
- 医師を確保し、研修等の受講予定

ICTの活用

- 未来かなえネットの運用

12

未来かなえネットの可動圏域



未来かなえネットの加入状況

6,964名

【10月19日現在の住民登録数】
うち住田町約1,200名登録 約20%

2市1町人口 **62,800人**【28年8月】

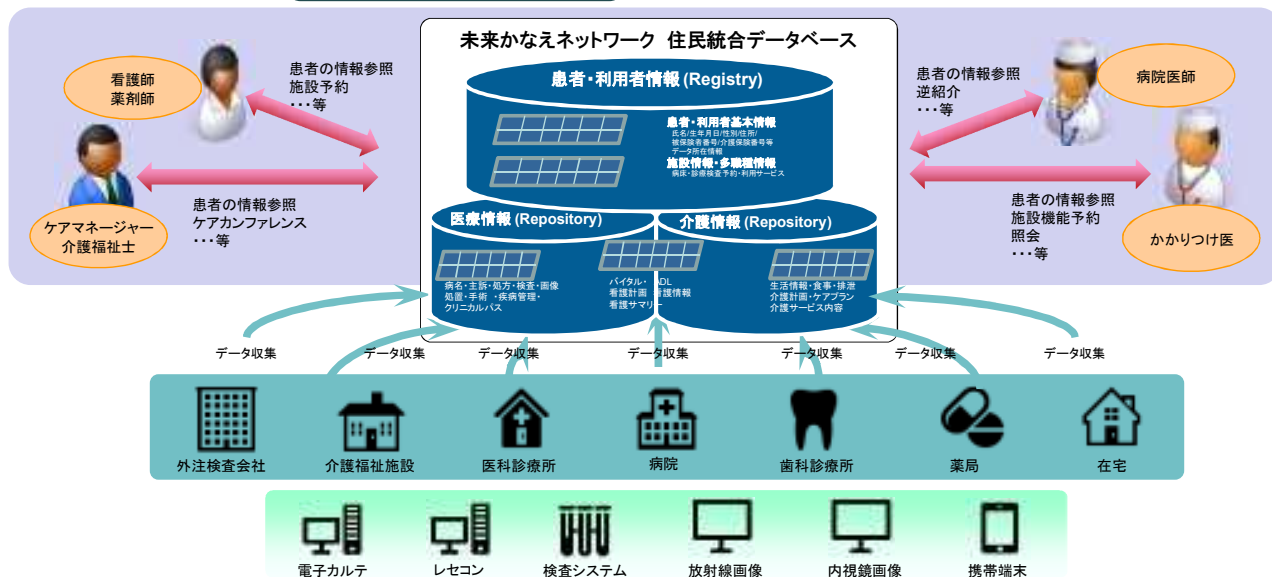
一般社団法人 未来かなえ機構
事務局長 安部 白道氏より

「未来かなえネット」

- 1 電子カルテを前提としない
双方向性の実現
- 2 医療・介護情報統合
- 3 多職種連携は
情報共有とコミュニケーション
- 4 住民参加型 による
利用者価値最大化

住民参加型 の
地域医療介護連携ネットワーク

これが継続性を担保し、
また地域医療介護連携の投資対効果
を得る前提条件です。



一般社団法人 未来かなえ機構
事務局長 安部 白道氏より

これから移行する皆さまへ

今あるサービスを活用しましょう

- 多種多様なサービスを新しく作る事は難しいです

確実に地域の力が必要です

- 総合事業に限らず地域の眠った力をどう掘り起こすか

悩んだ時はそもそもの目的に戻りましょう

- 多種多様なサービスの構築が目的ではなく、地域包括ケアをどう実現していくか